

報告第 2 号

意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

大槌町地域公共交通網形成計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の実施結果をご報告します。

1 意見募集期間

平成 29 年 2 月 22 日(水)から 3 月 15 日(水)まで

2 意見募集実施方法

(1) 閲覧場所

役場町民室、中央公民館、安渡分館、赤浜分館、吉里吉里分館、小槌分館、
 沢山集会所、大槌町多目的集会所（大ケロ）、桜木町保健福祉会館、
 大槌町交流促進センター（浪板）、金沢支所、町ホームページ

(2) 意見受付方法

郵便、FAX、電子メール、回収箱

3 意見件数

受付方法	意見提出人数(人)	意見件数(件)
F A X	1	2
電子メール	1	2 2
回収箱	2	7
計	4	3 1

4 検討結果

区分	内容	意見件数 (件)
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの	1 3
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの	1
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの	0
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの	8
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれにも困難であると考えられるもの	1
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）	8
計		3 1

5 意見検討結果一覧表

別紙のとおり

意見検討結果一覧表

■大槌町地域公共交通網形成計画

No.	該当部分	頁(旧)	意見内容	検討結果	反映状況
1	生活関連施設の立地 他	5~14	「1-2 生活関連施設の立地」について、図が横となっており、修正は出来ませんか。(抜本的な修正が難しければ、文字だけを修正し、北が左側であることを示すでとるか)他のページ(p9,10,13,14)もありますが、縦での文字と横の図が入り乱れているのは見た目的にいかがかなと思います。(p7とかは文字も横読みにして統一した方が良いのではないのでしょうか)	図1-2及び1-7については、図の向きを修正します。図1-8、2-2、2-3については、タイトルを図の向きに合わせ、ページ内の向きを統一し、方位表示を追加します。	A
2	生活関連施設の立地 他	5	「1-2 生活関連施設の立地」について、「町方及びその周辺地域と吉里吉里の2カ所」とあるが、図上でどこがその地域か不明であり、図に記載できませんか。(難しければ、補足で中心となる建物を記載する(例:町方(大槌駅を中心とした地域))など工夫出来ませんか。)	意見のとおり修正します。	A
3	観光等交流人口の現状	17	入込数がゼロというのは町内の観光者しかいなかったということなのでしょうか。	表3-1の観光地点名(行事・イベント含む)については、県観光統計の調査対象地点等を記載していますが、震災後、調査体制が整っていないため入込数を把握できていない地点や実施していないイベントが含まれています。誤解を招かないよう、該当箇所を「-」に修正し、注釈を追加します。	A
4	町内交通の概要	27	「(2)系統と車両」について、「大槌地域振興」と記載するところか不明であるため、「大槌地域振興(株)」と記載できませんか。(名称だけだと、会社かどうかわからないため)	意見のとおり修正します。	A
5	タクシー(一般乗用旅客運送事業)	36	・正確には「一般乗用旅客自動車運送事業」であるため修正していただければと思います。 ・(株)と入れるべきではないのでしょうか。	意見のとおり修正します。	A
6	大槌学園スクールバス	37	住んでいる小枕団地は学園への通学は1~6年生だと徒歩は厳しいと思います。7~9年生は自転車通学ができればいいが、現在の状況は防潮堤や県道の工事の為、危険なので工事の終わるまでの間、送迎を考えて欲しいです。	小学生については、平成29年4月よりスクールバスの運行を開始する予定です。	F
7	大槌学園スクールバス	37	(1)通学支援の方法」において、 ・全校生徒の人数が記載できれば、分析に役立つのではないのでしょうか。 ・本文中1行目「平成28年4月から開校しが、」とあり、言い回しが不明確です。	・本文に平成28年10月1日現在の全校生徒数を追記します。 ・「平成28年4月から開校したが、」に修正します。	A

No.	該当部分	頁(旧)	意見内容	検討結果	反映状況
8	町民アンケート調査	41	「(3)65歳以上のお出かけ回数」において、下段にて「お出かけ」を説明していますが、そこに記載している名称が「おでかけ」であり、漢字を入れるか入れないか統一してください。(p41などでも使っていますので、計画全体で統一する必要があるかと思えます)	「お出かけ」で統一します。	A
9	住民ワークショップ	49	p47「<駅に必要なもの>」において、「気軽にはいれる温かみのある待合室」の「はいれる」は「入れる」にした方がよろしいのではないのでしょうか。	意見のとおり修正します。	A
10	住民ワークショップ	50	一番下の段が不自然に右側にずれているため、調整することは出来ないのでしょうか。	意見のとおり修正します。	A
11	前提条件	55~56	「3大槌駅施設レイアウトにあたっての前提条件」において、本文中「駅本屋とホームを結ぶ」とあるが、本屋(ほんおく)という意味があるのは承知しているものの、図上では駅舎としているため、駅舎でよいのではないのでしょうか。(何か意図があるのであればよいのですが、平易な表現の方がよろしいかと思えます。P56にも記載あり)	意見のとおり修正します。	A
12	導入機能	66	「(2)駅前広場の導入機能の考え方」において、図の項目ごとの楕円について、大きさがバラバラに見えますが、意図があってそうされているのでしょうか。(通常、大きさを合わせ、左右対称かなと思います)	意見のとおり修正します。	A
13	大槌町東日本大震災津波復興計画	68	「(3)新しいまちの姿」において、上下段の①~④について左にそろえた方が良いのではないのでしょうか。	意見のとおり修正します。	A
14	大槌町東日本大震災津波復興計画	67~69	「資料：前掲書」とは何でしょうか。	「大槌町東日本大震災津波復興計画」(平成26年3月改正)を指しますが、明確になるよう「大槌町東日本大震災津波復興計画」(平成26年3月改正)又は「同上」に修正します。	F
15	交通不便地域の対応	75	タクシーの料金割引とは別に、前もって予約できるバスがあれば良いと思います。(例えば、複数人が利用できるように病院の外来曜日に合わせる。毎回ではなくても曜日限定で設定する等・・・)	通常の路線バスでの対応が困難な地域については、デマンド型(予約制)バスの導入も検討しましたが、運行経費等の面で将来的に維持していくことは難しいと考えます。特に移動支援の必要性が高い高齢者や障がい者については、タクシーの利活用により対応することとします。	E

No.	該当部分	頁(旧)	意見内容	検討結果	反映状況
16	目指す公共交通ネットワーク	79	今後の計画作成にあたって新たにできた防集団地への公共バスの乗り入れをご検討ください。	運行経路上、乗り入れ可能な高台団地については、乗り入れを行うこととします。ただし、ダイヤや運行経費、道路事情等から困難な場合は、高齢者や障がい者を対象としたタクシー運賃補助により対応することとします。	D
17	目指す公共交通ネットワーク	79	浪板の弓型道路にも大型バスが出入りし、浪板海岸駅下の交差点近くに県交通バスのバス停を置いてほしい。交通量の多い国道の横断は高齢者が大変だ。	交通ネットワークの再編に合わせ、交通事業者と協議することとします。	D
18	実施事業及び実施主体	90,95	「実施主体」欄に「株式会社大安」とあるが、「株式会社大安タクシー」ではないでしょうか。	「株式会社大安」が正式名称ですので、計画案のとおりとします。	F
19	目標値の設定	102	基本目標1「お出かけ回数」の目標値の根拠が不明	現状から概ね2割増を目指すこととしています。	F
20	目標値の設定	103	基本目標2「町民バスの収支率」の目標値「維持又は改善」の境界がどのくらいなのか曖昧	目標をより明確にするため、「25%以上」に修正します。	B
21	目標値の設定	104	P102基本目標3の評価指標は一般的な住民目線であり、高齢者や障害者、観光客が実際どう感じているのか分からないのではないかと。	町民全体の意識の改善が重要と考え、「外出やお出かけを不便と感ぜない割合」を指標としていますが、意向調査の実施にあたっては、高齢者や障がい者などの移動制約者の実態も把握できるような調査方法を検討します。	D
22	目標値の設定	104	基本目標3「不便と感ぜない割合」の目標値の根拠が不明	お出かけや外出を不便と感ぜない町民の割合が、過半数を超えることを目標としています。	F

No.	該当部分	頁(旧)	意見内容	検討結果	反映状況
23	目標値の設定	104	基本目標3「大槌駅に乗り入れる路線バス便数」の目標値の根拠が不明(H31.3に駅使用開始とのことだが、震災前の水準に戻すということなのか)	町内外のスムーズな移動を実現するためには、交通結節点である大槌駅を発着する路線バスについて、一定の便数確保が重要との考えから、町民バスの1日24便(金沢小釜線12便、循環線12便)の乗り入れを実現するとともに、県交通バス等の広域バスについても乗り入れを目指します。なお、鉄道の運行再開に伴い、県交通バスはダイヤの見直しが見込まれますが、町民バスと同水準以上の便数は確保されるものと仮定し、目標値を「平日48便/日以上」に修正します。	A
24	目標値の設定	102	プロジェクト1, 2, 8は、試験運行(運用)を実施することから、その結果を基に目標値を設定してもいいのではないかと	目標値は基本目標ごとに設定し、プロジェクトごとには設定していませんが、試験運行の結果なども含め随時見直していきます。	F
25	-	-	赤浜地区内、バス停以外でも路線内であれば乗降可能にして下さい。	フリー乗降区間の拡大については、復興事業終了後の道路状況等を踏まえ、安全確保の観点から実施が可能か、交通事業者と検討することとします。	D
26	-	-	利用する方は高齢者が多いので、停留所も必要であるが手を上げれば止まってくれる、家が道路沿いなら、そこまで送り届ける等、高齢者に優しいシステムが必要では	フリー乗降区間の拡大については、復興事業終了後の道路状況等を踏まえ、安全確保の観点から実施が可能か、交通事業者と検討することとします。	D
27	-	-	この計画実現以前、つまり現時点での交通弱者(高齢者、障害者)への対策を至急かつ適切にお願いします。今大変な状況ですから！！	高齢者や障がい者のための施策である戦略③の各事業については、平成29年度の制度検討と、平成30年度以降の事業実施を予定していますが、可能な限り、早期の実施を目指します。	D
28	-	-	町民バスの出発場所を浪板交流センターからしてくれるよう、初回の調整からお願いしていましたが、どうして出発点を浪板交流センターから考えてくれないのか？残念です。浪板にも被災を免れた高齢者はいるし、みんなと同じく税金を払っているのに、浪板は別格なのか	町民バスの小釜浪板線については、始発終点はこれまでと同じ浪板仮設商店街前となりますが、平成29年度からは浪板漁集団地を経由することとしており、今後とも利便性向上に努めてまいります。	D

No.	該当部分	頁(旧)	意見内容	検討結果	反映状況
29	-	-	大槌駅前だけの整備ではなく吉里吉里駅、浪板海岸駅周辺の整備もお願いしたい。同じ大槌町の駅である。	浪板海岸駅については、漁業集落防災機能強化事業に伴い、東側広場の整備を行ったところです。吉里吉里駅については、JR山田線の移管に伴い、JR用地の譲渡が予定されていることから、用地の状況等を踏まえながら、今後検討してまいります。	D
30	-	-	立地適正化施策等との連携など配慮すべき事項について記載がない。	当町では立地適正化計画等は策定していませんが、上位計画である「大槌町東日本大震災津波復興計画」では、「コンパクトシティ・アンド・ネットワーク」の考えを取り入れており、本計画では、それら上位計画と整合を図る旨を記載しています。	F
31	-	-	住民等の意見の反映について、平成30年中に行う予定の見直し時に、パブリックコメント等を行うかどうか特段記載がない。	平成30年度の見直し時には、パブリックコメントを実施する予定はありませんが、乗降調査や町民アンケートなど、住民や利用者の意見を反映するための措置を検討します。	F

反映状況

	件数
A (全部反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	13
B (一部反映):意見の内容の一部を反映し、計画案を修正したもの	1
C (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であると考えられるもの	0
D (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とする	8
E (対応困難):A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの	1
F (その他):その他のもの(計画案の内容に関する質問等)	8